


婦人科経膣子宮摘出手術を受けられる患者様へ 氏名( ) 主治医( ) 医師 説明担当看護師( )

達成目標	入院日 手術の必要性がわかり、手術に同意している。	手術日	痛み止めの薬を使用して痛みを和らげることができる。 全身の状態が安定している。 膣からの出血が少量である。 手術後の合併症がない。	急性期(膀胱留置カテーテル抜去前) 痛み止めの薬を使用して 痛みを和らげることができる。 膣のガーゼが抜け出血が少量である。 全身の状態が安定している。 手術後の合併症がない。 / 排ガスがある。
	【入院までにご用意いただくもの及びお願い】 真後パッド1セット、ナプキン数個、(腹帯1枚:あれば結構です)、前開きのネグリ もしくは和式寝巻き、バスタオル2枚(白に近いできるだけ無地の物)、普段使用して 薬(1日分)、お茶や水のペットボトルとそれに使用できる曲がるストロー又は吸飲み、			
薬剤	1日前 寝る前に下剤を内服します。	当日 術前 	術後	1日後 痛み止めの薬(希望時)
点滴		朝9時ごろより点滴が始まります。 手術の翌朝まで点滴は続きます。		朝と夕に点滴があります。
処置	陰部の毛を剃ります。 	朝に浣腸を行ないます。 便が出たかお知らせ下さい。	酸素マスクをつけてベッド上で過ごします。	回診で膣のガーゼを抜き、 全身の状態の診察をします。
検査	超音波検査・内診			
安静度	手術当日術前まで病院内は自由です。		ベッド上で横になったまま安静に過ごします。 (麻酔のしびれがとれれば寝返りしていただけます。)	坐位、ベッド横立位まで可 (医師の指示でトイレ歩行可になります。)
食事/水分	普通食です。 絶食の時間を別紙にてお知らせいたしま す。	絶飲食です。		朝より飲水が可能になります。 昼より五分粥の食事が開始となります。
留置物		朝9時ごろの点滴の開始時に、 点滴の針を入れます。(手は動かさず)	膀胱カテーテル(尿の管です) 点滴の針	
清潔	シャワーに入っただけです。			お体を拭きます。
観察	体重・血圧の測定・検温 	出棟時前の血圧測定・検温 	心電図モニター・SpO2モニター(酸素の状態を測る もの)をつけます。 外陰部の状態や全身の状態を観察します。	排ガス・排便 
指導	栄養指導			
	服薬指導	薬剤師より服薬指導があります。 普段使用されている薬があればご持参下 さい。	お願い!	
	リハビリ指導			
教育・説明	看護師より、入院生活についての説明が あります。	手術当日は、手術予定1時間前にご家族の来院をお願いします。 術後、医師よりご家族に手術の説明があります。ご家族の方は必ず病棟内でお待ちください。		
書類	同意書をご提出ください。 入院治療計画書をお渡しします。			

上記の内容はこの状態に応じて内容が異なりますのでご了承ください。  
尚、ご不明な点がありましたら看護師にお尋ねください。  
入れ歯、ジェルネイル、カツラ、アクセサリは検査や処置時は取り外しをお願いします。  
また、入院中のお化粧品もお控えください。(顔色観察のため)

